

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	施設の第三者委員は利用者の意向を施設に伝え、施設はそのことを受け止め、サービスの改善につなげる努力をしている
	内容	施設の第三者委員は7名の委員で構成されており、毎月利用者と面談している。施設では、第三者委員を写真入りで常時掲示しており、面談の日も職員の作ったポスターで利用者に周知している。利用者の中には、第三者委員と話すことを楽しみにしている利用者もいる。第三者委員と施設は、連携して利用者が自由に意見を言える環境作りを目指しており、サービス改善につなげる努力をしている。
2	タイトル	利用者のニーズにあった多彩な日中活動を展開している
	内容	施設では、島ならではの自然環境を活かした島唐辛子等の農園芸活動、海塩づくり、石けんづくり、陶芸、織物など多彩な日中活動を用意している。日中活動として栽培した、唐辛子を練り込んだみそを付けた「焼き鳥」が島で開催された食のイベント大会で優勝するなど成果を上げている。活動内容が多彩になったことにより、利用者の選択の幅が広がり、利用者の可能性を引きだしている。
3	タイトル	余暇活動の充実を図り、利用者の能力向上に繋げている
	内容	施設では、心身のリフレッシュを図り、明日への活力を養うため余暇活動に力を入れている。非常勤職員に元学校教員を採用して利用者に絵の指導を行い、利用者の可能性を引き出し、生き生きとした生活が出来るよう支援を行っている。絵画は玄関をギャラリーとして掲示し、利用者の励みとなっている。この絵画は、都内で開催された障害者美術展に出品し好評を得ている。この外、島外の旅行や外食などを行い、生活の幅を広げている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	食事の開始時間について、更に検討をされたい
	内容	食事の時間については、職員の勤務時間の関係もあり現行の時間を変更することは困難であるが、第三者委員に「早くしてほしい」と話している利用者は、少数とはいえ、もう少し早くという利用者の気持ちは根強くあるように思われる。確かに食堂の開始時間を待ち望み、閉められた食堂のドアの前にたたずむ利用者の姿も見られる。困難な条件はあるにしても、食事の開始に合理的な理由が付く範囲内で、更なる検討を続けられたい。
2	タイトル	地域生活移行への努力を更に続けられたい
	内容	利用者の地域生活への移行は、本年度の支援計画書では、「新しい居住の場(ケアホーム、グループホーム)の設置検討も含め、多様なニーズや社会的自立、地域移行目指した支援についても通年でやっていく」と書かれている。昨年度は、借家の候補はあったが、物件の広さや条件が適当ではないということで実現は見送られた。本年度、また最初から借家を探しているところであるが、計画が中々進まない現状である。困難な条件は多くあると思われるが、計画として掲げた以上は、引き続き地域生活移行の実現に向けて努力を続けられたい。
3	タイトル	毎日の朝・夕礼時の引継ぎは報告・連絡事項が多岐にわたり、長時間を要しているの、改善に向けた検討が望まれる
	内容	日常生活支援記録はパソコンで管理され、職員全員は情報共有して支援活動を行っているところであるが、毎日の朝・夕礼時には支援職員、看護師、栄養士、管理課職員等が多数出席して、報告・連絡が多岐にわたり行われ長時間を要している現状を考えると、報告・連絡事項の簡略化、全体周知方法の工夫等を図ることで、改善に向けた検討が望まれる。